

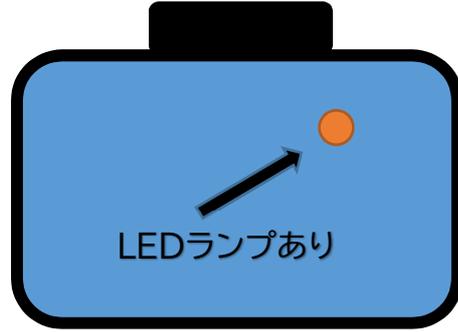
シフターモジュール、ブリッパーモジュールUPデート方法の注意

2種類のシフターモジュールが販売されております。タイプ毎にUPデート方法に違いがあります。下記方法にて正しくUPデートを行うようにして下さい。

K27-SW-GEAR & K27-BLIP-xxx シフター & ブリッパー共通作業
見分け方は下記の2種類になります。



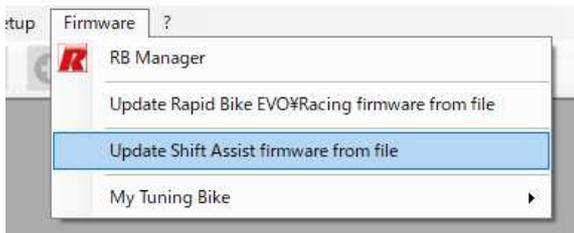
本体裏面・LED無しタイプ
FLCファイルを使用する



本体裏面・LEDタイプ
FLXファイルを使用する

****エラー防止のため、YOUTUNEの接続は外して(CANラインを使用する為)作業を行う事を推奨しております****

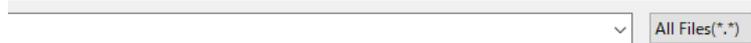
UPデート手順方法 ・ IGキーON状態で行います。



LED無しタイプは下記のファイルを選択

名前	
Blipper	
QuickShift_113.flc	
QuickShift_114.flc	
QuickShiftBlipper_303.flc	
QuickShiftBlipper_305.flc	
QuickShiftBlipper_308.flc	
QuickShiftBlipper_310.flc	
QuickShiftBlipper_311.flc	
QuickShiftBlipper_406.flc	
QuickShiftBlipper_408.flc	
QuickShiftBlipper_409.flc	
QuickShiftBlipper_410.flc	
Blipper2_208.flx	2022/07/18 16:03 FLX ファイル
Blipper2_300.flx	2022/07/27 9:55 FLX ファイル
Blipper2_301.flx	2022/11/09 12:53 FLX ファイル
Blipper2_303.flx	2023/02/02 17:42 FLX ファイル

* 410が最新です。稀に410ファイルが上手く機能しない場合、409や408とダウングレードして使用する事も可能です。



指定が無い場合はUPデートを必ず行う必要はありません。失敗すると電子スロットル設定が切れたりエラーが起こる場合がございます。必ずエラーイレース機をご準備の上、UPデート作業を行うようにして下さい。

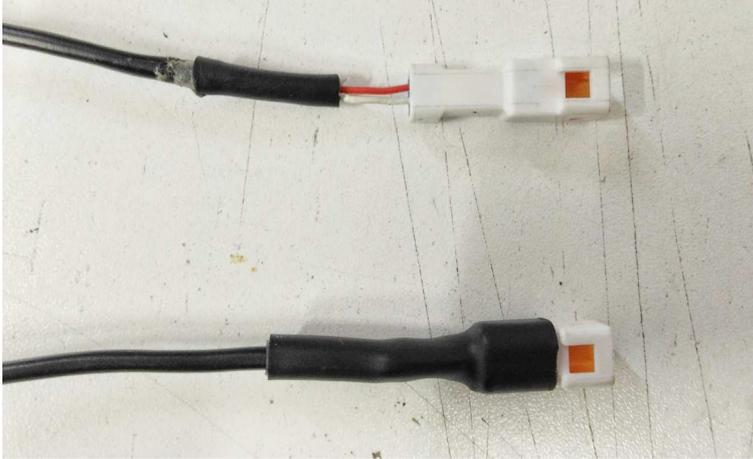
もしも、本体の選択ミスでエラーになってしまった場合は一度、IGキーをOFFにして再度、同じ作業手順で正しいファイルを選択して行って下さい。

YAMAHA車両はシビアに反応する為、OBDモデルは必ずエラーイレース機を準備して作業してください。

* YZF-R6, YZF-R1 2018モデル以降、MT-09シリーズ、XSR900 2018モデル以降

参考資料

シフターセンサーコネクタ補強作業



上段：旧シフターセンサー

*現在は販売しておりません

下記参考に対策する事で耐久性が上がります

下段：対策済みシフターセンサー

*対策の必要はありません

現在デリバリー製品は対策済み

旧シフターセンサー側の白い2Pコネクタ

長期使用や振動等でカシメ部分の配線が痩せてくる事があります。

*この部分の配線が痩せてくると振動でノイズや誤信号を受けやすくなり、シフターエラーやシャクルのような現象が起こります。

上記写真を参考にコネクタ部分を防水用熱収縮チューブで補強する事で改善される場合があります。
内部固定される事でノイズや振動から保護されます。

歪み式シフターセンサーは消耗品です。永久品ではございませんのでご注意ください。

または下記のように簡易的に対策する事で改善する場合があります。

締めすぎにご注意ください。あくまでも簡易的作業となり性能を保証する物ではございません。



旧タイプが装着されていて故障かな?と思ったら上記方法を試してみてください。